



特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター

2025 年度 総会資料

2025 年 5 月 21 日

■ 目 次

1. 議事	1
(1) 議案第 1 号：2024 年度事業報告について	1
(2) 議案第 2 号：2024 年度活動決算について	23
(3) 議案第 3 号：2025 年度事業計画（案）について	33
(4) 議案第 4 号：2025 年度活動予算（案）について	35
(5) 議案第 5 号：役員報酬について	37
2. その他	39
(1) 「出張！いわせん塾」の拡充について	39
(2) 2025 年 5 月の会員数について	40

1. 議事

(1) 議案第1号：2024年度事業報告について

2024年度も地域づくりに関わる「A. 支援・協力事業」、「B. 人材の育成・研修事業」、「C. 調査・研究事業」、「D. 情報発信事業」を活動の4本の柱として取り組みました。

「A. 支援・協力事業」は、地域住民が主体的に取り組む地域づくり支援（地域運営支援）と、行政が主体的に関わり地域運営組織を形成する地域づくり支援（協働支援）に取り組みました（10事業）。

このうち、住民自治組織からの依頼により住民主体で行う地域運営支援は6事業です。奥州市は農林水産省の農村RMOモデル地区事業の補助を受けている地区が3地区と多いこともあり、その刺激を受けて市内において地域運営に対する意識の高まりが感じられる年となりました。また、遠野市小友地区と宮城県白石市白川地区は住民主体により送迎支援を行いたいという活動を支援した事業であり、地域運営による具体的な生活課題解決を支援しました。

市町村からの依頼による協働支援は4事業で、このうち久慈市と横手市は継続の事業ですが、2024年度は新たに人農地プランの地域計画の策定支援として、市内20地区においてワークショップを開催し、住民による農用地保全や農業のあり方に対する話し合いの支援を行いました。ワークショップは、奥州市内の中間支援人材であるまちづくりアカデミー修了生に活躍してもらい、実施することができました。

「B. 人材の育成・研修事業」として、「いわせん20周年記念シンポジウム～感謝フェス～」を開催いたしました。明治大学農学部教授の小田切徳美先生と岡山県内で中間支援を行っているみんなの集落研究所の阿部典子さんをお招きして基調講演を行っていただいたほか、県内の地域づくり活動に様々な立場で取り組んでいる皆さんも交えてパネルディスカッションを開催しました。参加者は会場に94名、オンラインで110名参加いただき、盛会のうちに終えることができました。

また、秋田県のアドバイザー派遣を活用して秋田県内の地域づくりや地域運営に関わる人材の研修事業に取り組みました（2事業）。

「C. 調査・研究事業」は、公共交通に関する調査研究事業（5事業）行いました。交通計画の策定（遠野市、住田町）に取り組んだほか、計画に基づいてバス路線の見直しや乗合タクシーの導入支援とう計画を推進する事業にも取り組みました（田野畑村、宮城県丸森町、山形県鶴岡市朝日地区）。

「D. 情報発信事業」は、おもに地域づくりに関わる情報誌やパンフレット等をデザインする「地域づくり情報誌系」、公共交通のマップや時刻表、お知らせチラシ等を作成する「公共交通系」と、名刺やポスター等「その他」の事業に取り組みました（19事業）。地域づくり情報誌系では、これまでのような地域活動を紹介する情報誌デザインを継続して支援する一方、農村RMOの活動をパンフレットにまとめる業務が増えました。公共交通系でも、従来通りのコミュニティバスに関わる時刻表の更新作業をする一方、新しく運行開始するAIデマンドバスの説明パンフレットなどが増えました。

2024年度 事業報告

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(総括)

2024年度は「支援・協力事業」を9事業、「人材の育成・研修事業」を3事業、「調査・研究事業/政策提言事業」を6事業、「情報発信事業」を18事業実施しました。

表 2024年度の事業一覧

☐: 非営利事業

種類	事業内容	依頼者（委託者）	備考	
<地域運営支援> *地域住民主体活動の支援				
A 支援・協力事業 (9)	1. 奥州市 いさわ農村活性化推進事業中間支援業務（継続）	胆沢平野土地改良区	企業等	
	2. 奥州市 伊手農村農業活性化協議会支援業務（継続）	伊手農村農業活性化協議会	住民団体	
	3. 奥州市 藤里振興会地域コミュニティ計画の更新と組織見直し検討支援業務（継続）	藤里振興会	住民団体	
	4. 遠野市 小友地区おとも・ボランティア送迎事業（継続）☐	お不動みのたけ倶楽部	住民団体	
	5. 宮城県白石市 白川地区地域内交通支援業務	白川振興会	住民団体	
	6. 奥州市衣川 南股地区農地農業マップ作成業務	南股地区センター	住民団体	
	<協働支援> *住民と行政の協働活動の支援			
	7. 久慈市 ふるさと未来づくり事業中間支援業務（継続）	久慈市	行政	
	8. 奥州市 人・農地プラン地域計画策定支援業務	奥州市	行政	
9. 秋田県横手市 浅舞地区地域運営組織形成支援業務（継続） 浅舞地区アンケート支援業務	秋田県横手市	行政		
10. 秋田県横手市 朝倉地区地域運営組織形成支援業務	秋田県横手市	行政		
B 研修事業 (3)	11. いわセン 20周年記念シンポジウム～感謝フェス～	—	自主事業	
	12. 秋田県 小坂町地域づくり支援アドバイザー派遣事業	秋田県・NPO あきたパートナーシップ	企業等	
	13. 秋田県 潟上市地域づくり支援アドバイザー派遣事業	秋田県・NPO あきたパートナーシップ	企業等	
C 調査研究・政策提言 (6)	14. 田野畑村 公共交通調査等支援業務（継続）	田野畑村地域公共交通活性化協議会	行政	
	15. 宮城県丸森町 地域公共交通伴走支援業務（継続）	宮城県丸森町	行政	
	16. 住田町 地域公共交通計画等策定支援業務	住田町 地域公共交通会議	企業等	
	17. 山形県鶴岡市 朝日地域公共交通再編調査業務	朝日地域市営バス利用拡大協議会	行政	
	18. 遠野市 地域公共交通計画策定業務	遠野市	行政	

種類	事業内容	依頼者（委託者）	備考
D 情報発信 (19)	＜地域づくり情報誌系＞		
	19. 田野畑村明戸地区 情報誌「おすばらぐ」制作業務（継続）	明戸の元気応援団	住民団体
	20. 北海道岩内町 情報誌「いつもここから」制作業務（継続）	岩内町	行政
	21. 岩手県NPO情報誌冊子「PIN」デザイン制作業務（継続）	NPO 法人いわて連携復興センター	企業等
	22. 伊手デザイン業務	伊手農村農業活性化協議会	住民団体
	23. 遠野市土淵地区 RMO支援（HP・冊子修正・パンフデザイン）	NPO 法人遠野山・里・暮らしネットワーク	企業等
	24. 長崎県五島市 山内地区農村RMOビジョンパンフ作成印刷業務	岐宿まちづくり協議会 山内支部	住民団体
	＜公共交通系＞		
	25. 公共交通インフラ整備MAP更新作業（継続）	東北活性化研究センター	企業等
	26. 大槌町 公共交通広報資料等作成業務（継続）	大槌町	行政
	27. 新潟県村上市 山北地域交通住民周知チラシ作成業務（継続）	山北地域交通運営協議会	行政
	28. 暮らしの足をみんなで考える全国フォーラムデザイン業務（継続）	暮らしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会	企業等
	29. 北上市 コバスおに丸号バスマップ増刷+R7年度分制作業務（継続）	北上市	行政
	30. 八幡平 コミュニティバス時刻表冊子作成業務（継続）	八幡平市	行政
	31. 宮城県女川町 公共交通マップ等制作業務（継続）	㈱KCS	企業等
	32. 久慈市 AIバスパンフレット等一式作成業務	㈱KCS	企業等
	33. 西和賀町 町民バスAIオンデマンド交通マップ制作業務	西和賀町	行政
	＜その他＞		
	34. 記念誌デザイン印刷業務（継続）	NPO 法人いわてNPO ネットサポート	企業等
35. 藤尾氏名刺増刷業務（継続）	藤尾氏	企業等	
36. 北村氏名刺	(有)KBC	企業等	
37. 映画「生きる」上映会チラシデザイン業務	NPO 法人いわてNPO フォーラム21	企業等	

（個別支援事業）

そのほか、契約額上は当センターの受注事業ではないものの、代表理事、常務理事が個別に支援を行った事業は以下の通りです。

【広田代表理事】2024年5月～2025年5月

●委員

- 1 盛岡市「緑のまちづくり委員会」委員長
- 2 葛巻町「総合計画・総合戦略策定委員会」委員長
- 3 葛巻町「観光DMO協議会」有識者
- 4 一関市「骨寺村荘園遺跡指導委員会」委員長
- 5 一関市「本寺地区景観計画委員会」委員長
- 6 一関市博物館「骨寺村落研究会」委員
- 7 遠野市「遠野の景観」保存活用検討委員会」委員長
- 8 東松島市「赤井官衙遺跡群保存活用計画策定委員会」委員
- 9 釜石市「農政推進協議会」委員
- 10 岩手県「多面的機能支払委員会」委員長
- 11 岩手県「高田松原津波復興祈念公園有識者会議」委員
- 12 岩手県「三陸ジオパーク推進協議会」有識者アドバイザー
- 13 文化庁「指定棚田地域の指定にかかる有識者」及び「指定棚田地域振興活動計画の認定にかかる有識者」
- 14 農林水産省東北農政局「和賀中央地区環境委員会」委員長
- 15 環境省「自然共生サイト認定審査委員」
- 16 国土交通省「土地政策研究会」委員
- 17 (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構「研究調査部」研究アドバイザー
- 18 NPO法人チームまちづくり理事
- 19 農村計画学会顧問
- 20 農業工学会理事（2024年4月より）

●講師

- 21 奥州市「協働のまちづくりアカデミー」講師
- 22 岩手大学非常勤講師（地域創生特論，地域防災特論）
- 23 岩手大学「アグリフロンティアスクール」講師
- 24 岩手県立宮古短大非常勤講師（地域総合講座）

●地域づくりアドバイザー・コーディネーター

- 25 葛巻町冬部地区「冬部の里づくり」アドバイザー
- 26 一関市本寺地区「地域づくり推進協議会」アドバイザー
- 27 奥州市胆沢区「内田たんぼの学校」アドバイザー
- 28 奥州市江刺区藤里地区「地域コミュニティ計画策定検討委員会」コーディネーター
- 29 胆沢平野土地改良区「いさわ農村活性化プロジェクト」コーディネーター
- 30 遠野市小友地区「お不動みのたけ倶楽部」アドバイザー
- 31 久慈市「ふるさと未来づくり事業」コーディネーター（山形地区・山根地区・夏井地区・小久慈地区）
- 32 久慈市山形町バッテリー村アドバイザー
- 33 高田松原津波復興祈念公園グループ代表者会議「協働推進グループ」代表

●講演・研修（単発）

- 34 久慈市職員研修講師（2024年5月16日、6月10日）
- 35 三陸ジオパーク「五葉山の新規サイト登録にむけた勉強会」講師（2024年6月12日）
- 36 文化庁文化財担当者専門研修講師（2024年6月16日）
- 37 造園学会東北支部講演 240907（2024年9月7日）
- 38 環境アセスメント協会一関市門崎地区研修会講師（2024年10月11日）
- 39 国交省国土管理構想研修会講師（2024年10月21日）
- 40 室根まちづくり協議会研修会講演（2024年12月13日）
- 41 輪島市南志見区長会話題提供（2024年4月27日）
- 42 防災学術連携体 Web 研究会話題提供（2025年4月25日）

【若菜常務理事】

●委員・アドバイザー

- 1 総務省 地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する研究会委員
- 2 総務省 地域力創造アドバイザー
- 3 農林水産省 農村RMO推進研究会委員
- 4 農林水産省 農村コーディネーター養成講座講師
- 5 国土交通省 社会資本整備審議会道路分科会 東北地方小委員会委員
- 6 国土交通省東北運輸局 地域公共交通東北仕事人（アドバイザー）
- 7 国土交通省北陸信越運輸局 地域交通パートナー
- 8 農林水産省東北農政局 豊かなむらづくり全国表彰事業審査委員長
- 9 岩手県 活力ある小集落実現プロジェクト研究会委員
- 10 岩手県 中山間地域等直接支払制度推進委員
- 11 紫波町 農業委員

●R6年度 講演

- 12 花巻市湯口地区一本杉老人クラブ「自治会や各種団体のこれからについて～“みんなで取り組む”のはじめ方～」
- 13 久慈市職員研_修地域づくりとRMO
- 14 宮城県大和町 令和6年度難波集落協定研修会
- 15 岩手大学農学部講義 農村のこれから ～地域運営と農村交通～
- 16 全国中山間_川崎町@秋保 多様な主体でつくる農業農村のススメ～地域計画と農村RMO～
- 17 小友地区農村RMO勉強会 多様な主体でつくる農業農村のススメ～地域計画と農村RMO～
- 18 丸森町住民自治組織『まるもり地域づくり取り組み報告会』住民自治組織の『化石化』をどう乗り越えるか
- 19 北海道大学農学部講義 農村のこれから～地域運営と農村交通～
- 20 農村プロデューサー養成講座実践コース「地域づくりのこれからと農村プロデューサーへの期待と役割」
- 21 (益子町) 持続可能な地域づくりに向けた講演会
- 22 日本NPOセンター 中間支援組織に関わる施策・動きについて② 事例発表
- 23 宮城県白石市白川地域内交通学習会「これからの地域交通を考える～住民による住民のためのくらしの足づくり～」
- 24 NPO あぶくま_生活交通
- 25 第1回農村RMO推進研究会_県の伴走支援事例発表及びディスカッション
- 26 デジタル庁モビリティ班
- 27 北上市地域公共交通アドバイザー会議「地域内交通の現在地～最近のお仕事状況～」
- 28 京都府ヒアリング資料「生き残る地域のための地域づくり～これからの地域づくり＝地域運営～」
- 29 宮城県職員研修_R6 農山漁村振興研修会 講師
- 30 群馬県沼田市暮らしの足をみんなで考える円卓会議 講師
- 31 秋田の原風景を守り継ぐフォーラム 多様な主体でつくる農業×農村のススメ～農村RMOと地域計画～
- 32 いわて農業・農村多面的機能シンポジウム岩手県における農村RMOの取り組みについて
- 33 デジタル庁モビリティWG「地域交通の実情～デジタルに期待されること～」
- 34 全農農泊 「農泊と交通と～地域交通の変容を受けて～」
- 35 新潟県柏崎地域 中山間地域活性化研修会「生き残る地域の地域づくり～農村RMOと地域運営～」
- 36 奥州市伊手地区の未来の農地・農村を守る～農村RMOから始まる地域づくり～
- 37 五島山内 ふるさと山内の活性化について
- 38 総務省 RMO フォーラム コーディネーター・事例発表
- 39 総務省より RMO のヒアリング
- 40 東北運輸局職員研修
- 41 秋田県潟上市_自治会広域化 地域づくり支援アドバイザー派遣事業 湖岸地区戦略会議
- 42 いわて農村 RMO フォーラム 2024 講師「生き残る地域の地域づくり～農村RMOと地域計画～」
- 43 山形県_中間支援 あなたの気持ちに火をつける！ 地域づくり研修会山形県農村計画課
- 44 遠野市地域づくり講演会「遠野市の公共交通の課題とこれからについて」
- 45 北海道地域づくり研修会「地域の未来を共創するコミュニティ形成」生き残る地域の地域づくり～稼ぐ地域運営～
- 46 北信越フォーラム「地域交通分野と他分野の共創・連携について」

A 1. 支援・協力事業【地域運営支援】

事業名	1. 奥州市 いさわ農村活性化推進事業中間支援業務																																																																																																																				
依頼者	胆沢平野土地改良区	継 続																																																																																																																			
実施地区	奥州市いさわ区(全域)																																																																																																																				
事業概要	<p>いさわ農村活性化推進事業は、①地域の担い手の育成と②農業の担い手の育成を目的に、2022 年度より農林水産省の補助事業としてスタートした。最終年度である本年度は次の業務を行った。</p> <p>(1) 事業全体の企画・立案を行う「全体会」のコーディネート</p> <p>全 10 回の全体会を行い、3 つの実践チーム（古民家、農業、観光）ごとの本番に向けての打合せ、ならびに次年度以降の活動方針を協議した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月10日(金)</td> <td>第1回全体会：各班の活動計画の検討</td> </tr> <tr> <td>6月7日(金)</td> <td>第2回全体会：各班の活動計画の検討</td> </tr> <tr> <td>7月4日(木)</td> <td>第3回全体会：各班の活動計画の検討</td> </tr> <tr> <td>7月30日(火)</td> <td>第4回全体会：各班の活動計画の検討</td> </tr> <tr> <td>10月2日(水)</td> <td>第5回全体会：各班の活動計画の検討</td> </tr> <tr> <td>10月22日(火)</td> <td>第6回全体会：各班の活動計画の検討</td> </tr> <tr> <td>11月5日(火)</td> <td>第7回全体会：各班の活動計画の検討</td> </tr> <tr> <td>12月2日(月)</td> <td>第8回全体会：次年度以降の活動方針</td> </tr> <tr> <td>1月30日(木)</td> <td>第9回全体会：次年度以降の活動方針</td> </tr> <tr> <td>2月19日(水)</td> <td>第10回全体会：次年度以降の活動方針</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 胆沢地域の次世代による「いさわ活性化プロジェクト」のサポート</p> <p>古民家班は、昨年度に引き続き、奥州市胆沢区小山方八丁の阿部家（「あべや」と命名）を拠点に事業を行った。農業振興班も、「あべや」の敷地内で家庭菜園事業を行った。観光振興班は、昨年度の初心者向けキャンプ講座を発展させ、防災訓練を盛り込んだ防災キャンプ講座を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>班</th> <th>日時</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>古民家</td><td>4月20日(土)</td><td>古民家除草剤散布</td></tr> <tr><td>古民家</td><td>5月18日(土)</td><td>古民家除草剤散布</td></tr> <tr><td>古民家</td><td>6月10日(月)</td><td>古民家チラシ作成</td></tr> <tr><td>古民家</td><td>6月22日(土)</td><td>古民家片付け</td></tr> <tr><td>古民家</td><td>7月27日(土)</td><td>古民家片付け</td></tr> <tr><td>古民家</td><td>7月4日(木)</td><td>古民家チラシ作成</td></tr> <tr><td>古民家</td><td>8月5日(月)</td><td>古民家チラシ作成</td></tr> <tr><td>古民家</td><td>8月24日(土)</td><td>古民家片付け</td></tr> <tr><td>古民家</td><td>8月28日(水)</td><td>古民家チラシ作成</td></tr> <tr><td>古民家</td><td>9月28日(土)</td><td>古民家片付け</td></tr> <tr><td>古民家</td><td>10月25日(金)</td><td>古民家班チラシ作成</td></tr> <tr><td>古民家</td><td>10月27日(日)</td><td>古民家片付け</td></tr> <tr><td>古民家</td><td>11月3日(日)</td><td>古民家庭木の伐採</td></tr> <tr><td>古民家</td><td>11月10日(日)</td><td>古民家漆喰塗り講座(本番)</td></tr> <tr><td>古民家</td><td>11月18日(月)</td><td>古民家班チラシ作成</td></tr> <tr><td>古民家</td><td>11月23日(土)</td><td>古民家片付け</td></tr> <tr><td>古民家</td><td>11月29日(金)</td><td>古民家片付け</td></tr> <tr><td>古民家</td><td>11月30日(土)</td><td>古民家カフェイベント(本番)</td></tr> <tr><td>農業</td><td>6月10日(月)</td><td>農業振興班打合せ</td></tr> <tr><td>農業</td><td>7月23日(火)</td><td>農業振興班打合せ</td></tr> <tr><td>農業</td><td>8月5日(月)</td><td>農業振興班イベント準備</td></tr> <tr><td>農業</td><td>8月13日(火)</td><td>農業振興班イベント準備</td></tr> <tr><td>農業</td><td>8月18日(日)</td><td>農業振興班家庭菜園体験(本番)</td></tr> <tr><td>農業</td><td>2月22日(土)</td><td>農業振興班竹伐採</td></tr> <tr><td>観光</td><td>8月12日(月)</td><td>観光班チラシ作成</td></tr> <tr><td>観光</td><td>10月21日(月)</td><td>観光班青少年の家打合せ</td></tr> <tr><td>観光</td><td>11月2日(土)</td><td>観光班買い出し</td></tr> <tr><td>観光</td><td>11月9日(土)</td><td>観光班キャンプ講座(本番)</td></tr> <tr><td>観光</td><td>10月16日(水)</td><td>いさわ路探訪バスツアー</td></tr> <tr><td>観光</td><td>2月5日(水)</td><td>観光班データ作成</td></tr> </tbody> </table>		日程	内容	5月10日(金)	第1回全体会：各班の活動計画の検討	6月7日(金)	第2回全体会：各班の活動計画の検討	7月4日(木)	第3回全体会：各班の活動計画の検討	7月30日(火)	第4回全体会：各班の活動計画の検討	10月2日(水)	第5回全体会：各班の活動計画の検討	10月22日(火)	第6回全体会：各班の活動計画の検討	11月5日(火)	第7回全体会：各班の活動計画の検討	12月2日(月)	第8回全体会：次年度以降の活動方針	1月30日(木)	第9回全体会：次年度以降の活動方針	2月19日(水)	第10回全体会：次年度以降の活動方針	班	日時	内容	古民家	4月20日(土)	古民家除草剤散布	古民家	5月18日(土)	古民家除草剤散布	古民家	6月10日(月)	古民家チラシ作成	古民家	6月22日(土)	古民家片付け	古民家	7月27日(土)	古民家片付け	古民家	7月4日(木)	古民家チラシ作成	古民家	8月5日(月)	古民家チラシ作成	古民家	8月24日(土)	古民家片付け	古民家	8月28日(水)	古民家チラシ作成	古民家	9月28日(土)	古民家片付け	古民家	10月25日(金)	古民家班チラシ作成	古民家	10月27日(日)	古民家片付け	古民家	11月3日(日)	古民家庭木の伐採	古民家	11月10日(日)	古民家漆喰塗り講座(本番)	古民家	11月18日(月)	古民家班チラシ作成	古民家	11月23日(土)	古民家片付け	古民家	11月29日(金)	古民家片付け	古民家	11月30日(土)	古民家カフェイベント(本番)	農業	6月10日(月)	農業振興班打合せ	農業	7月23日(火)	農業振興班打合せ	農業	8月5日(月)	農業振興班イベント準備	農業	8月13日(火)	農業振興班イベント準備	農業	8月18日(日)	農業振興班家庭菜園体験(本番)	農業	2月22日(土)	農業振興班竹伐採	観光	8月12日(月)	観光班チラシ作成	観光	10月21日(月)	観光班青少年の家打合せ	観光	11月2日(土)	観光班買い出し	観光	11月9日(土)	観光班キャンプ講座(本番)	観光	10月16日(水)	いさわ路探訪バスツアー	観光	2月5日(水)	観光班データ作成
	日程	内容																																																																																																																			
	5月10日(金)	第1回全体会：各班の活動計画の検討																																																																																																																			
	6月7日(金)	第2回全体会：各班の活動計画の検討																																																																																																																			
	7月4日(木)	第3回全体会：各班の活動計画の検討																																																																																																																			
	7月30日(火)	第4回全体会：各班の活動計画の検討																																																																																																																			
	10月2日(水)	第5回全体会：各班の活動計画の検討																																																																																																																			
	10月22日(火)	第6回全体会：各班の活動計画の検討																																																																																																																			
	11月5日(火)	第7回全体会：各班の活動計画の検討																																																																																																																			
	12月2日(月)	第8回全体会：次年度以降の活動方針																																																																																																																			
1月30日(木)	第9回全体会：次年度以降の活動方針																																																																																																																				
2月19日(水)	第10回全体会：次年度以降の活動方針																																																																																																																				
班	日時	内容																																																																																																																			
古民家	4月20日(土)	古民家除草剤散布																																																																																																																			
古民家	5月18日(土)	古民家除草剤散布																																																																																																																			
古民家	6月10日(月)	古民家チラシ作成																																																																																																																			
古民家	6月22日(土)	古民家片付け																																																																																																																			
古民家	7月27日(土)	古民家片付け																																																																																																																			
古民家	7月4日(木)	古民家チラシ作成																																																																																																																			
古民家	8月5日(月)	古民家チラシ作成																																																																																																																			
古民家	8月24日(土)	古民家片付け																																																																																																																			
古民家	8月28日(水)	古民家チラシ作成																																																																																																																			
古民家	9月28日(土)	古民家片付け																																																																																																																			
古民家	10月25日(金)	古民家班チラシ作成																																																																																																																			
古民家	10月27日(日)	古民家片付け																																																																																																																			
古民家	11月3日(日)	古民家庭木の伐採																																																																																																																			
古民家	11月10日(日)	古民家漆喰塗り講座(本番)																																																																																																																			
古民家	11月18日(月)	古民家班チラシ作成																																																																																																																			
古民家	11月23日(土)	古民家片付け																																																																																																																			
古民家	11月29日(金)	古民家片付け																																																																																																																			
古民家	11月30日(土)	古民家カフェイベント(本番)																																																																																																																			
農業	6月10日(月)	農業振興班打合せ																																																																																																																			
農業	7月23日(火)	農業振興班打合せ																																																																																																																			
農業	8月5日(月)	農業振興班イベント準備																																																																																																																			
農業	8月13日(火)	農業振興班イベント準備																																																																																																																			
農業	8月18日(日)	農業振興班家庭菜園体験(本番)																																																																																																																			
農業	2月22日(土)	農業振興班竹伐採																																																																																																																			
観光	8月12日(月)	観光班チラシ作成																																																																																																																			
観光	10月21日(月)	観光班青少年の家打合せ																																																																																																																			
観光	11月2日(土)	観光班買い出し																																																																																																																			
観光	11月9日(土)	観光班キャンプ講座(本番)																																																																																																																			
観光	10月16日(水)	いさわ路探訪バスツアー																																																																																																																			
観光	2月5日(水)	観光班データ作成																																																																																																																			

	<p>(3) 農業後継者育成のための「農業経営セミナー」の開催</p> <p>過去2ヶ年の研修を通じて、農業生産法人の担い手確保と収益の向上の2つが喫緊の課題であることを共有し、これらの課題解決に成果を挙げている2つの先進事例（遠野市「宮守川上流農業生産組合」、奥州市胆沢区「アグリ笹森」）を招いた農業経営セミナーを開催した。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>地域の次世代担い手育成については、活動の継続性の確保や資金調達のために、法人の立ち上げが必要という認識で一致し、現メンバーの有志で、一般社団法人の設立を検討することとなった。また、来年度の事業資金を調達するために、岩手県の「中山間ふるさと・水と土保全対策事業」に申請することとした。法人が立ち上がれば、農水省等のより大きな助成金を獲得できる可能性があり、「いさわ農村活性化」を今後も持続的に進めていけると考える。</p>



いさわ活性化プロジェクト全体会
(2024年12月2日、胆沢平野土地改良区)



いさわ活性化農業経営セミナー
(2025年2月19日、胆沢平野土地改良区)

事業名	2. 奥州市 伊手農村農業活性化協議会支援業務	
依頼者	伊手農村農業活性化協議会・伊手振興会	継 続
実施地区	奥州市伊手地区	
事業概要	<p>農村 RMO モデル形成支援事業の 3 年目となり、集大成として、①農用地保全に関しては「地域まるっと中間管理方式」の導入と営農の事務受託の連携等に向けて協議会が設立した。②地域資源活用としての小学校活用については 2025 年度の補修工事内容を市の協議を重ねた上で決定し、宿泊施設や農産物の加工場、コワーキングスペースなどが整備されることとなり、2026 年度からの供用開始に向けた準備が整いつつある。③生活支援については買い物ツアーと通院支援の実証運行を行った結果、次年度も充実させていくことになった。</p>	
今後の展望	<p>これらの事業を今後も実施していくために、これまでの協議体を発展させ、一般社団法人いであいが設立され、伊手振興会と両輪となって伊手地域の農業農村振興が進められていく予定である。2025 年度は総務省の補助事業を活用してさらに活動を発展させていく。</p>	



6月6日けもの大学



6月11日農地WS



8月21日けもの大学



伊手カレー

事業名	3. 奥州市 藤里振興会 地域コミュニティ計画策定および 組織見直し検討支援業務	
依頼者	藤里地区振興会	継 続
実施地区	奥州市江刺区藤里地区	
事業概要	<p>奥州市では藤里振興会では、2023 年度に地区振興会の組織見直し検討委員会、および地域コミュニティ計画策定委員会を立ち上げ、2024 年度にも引き続き、両委員会での検討を進めた。</p> <p>本業務は、藤里地区の地域コミュニティ計画の策定支援、ならびに組織見直し検討委員会の検討支援を行ったものである。</p> <p>(1) 藤里地区地域コミュニティ計画策定支援</p> <p>10 回のワークショップを行って、地域コミュニティ計画(2025～2034 年)を取りまとめた。藤里の将来像を、「夢かなえ笑顔の花咲く藤の里」(住民一人一人の夢がかない、みんなが笑顔で暮らしていける、藤の花が咲き誇る、そんな里をめざす)と定め、①くらし、②環境・景観、③なりわい、④交流、⑤情報発信、⑥人・組織の 6 つのテーマ、20 の事業を計画した。</p> <p>(2) 藤里地区組織見直し検討委員会(第 2 期)</p> <p>全 3 回の委員会を実施し、うちに 2 回に出席して、最終的な組織見直し案をまとめた。</p>	
今後の展望	2025 年度は、新しい地域コミュニティ計画の初年度であり、計画に盛り込まれた 6 テーマ・20 事業について、優先順位を定めて順次実施していく。計画推進を担当する計画推進部が既に設置されており、人選も終わっている。	

藤里地区コミュニティ計画 (第3期)

計画年：2025～2034年 藤里振興会

地区コミュニティ計画は、地域の将来像を定め、地域の魅力を活かしつつ、地区の課題(困りごとや悩みごと)を解決するために、地域住民が協力して実践できる活動をまとめたものです。藤里振興会では、10回のワークショップを重ねて、このたび第3期藤里地区コミュニティ計画(2025～2034年)を策定しました。この計画の実現に向けて、藤里の未来を一緒に考えていきましょう。

【藤里の将来像】
夢かなえ笑顔の花咲く藤の里
 住民一人一人の夢がかない、みんなが笑顔で暮らしていける、
 藤の花が咲き誇る、そんな里をめざします。

【藤里の強み】

- 大塚ドラマのロケ地になるほど、自然に恵まれ、素晴らしい田園風景がある。
- 豊かな歴史があり、重要文化財もある。
- 米がおいしい、農産物は豊富。
- 比較的災害に強く、暮らしやすい。
- 若者男女問わず、多様な人材がいて、地域のために汗を流す人もいる。
- ほどよい近所づきあいがあり、いざというときには助け合える、お祭り文化も残っている。
- 土地も家も安い。
- 駅や高速インターにも近い。
- 江刺中核工業団地をはじめ工業団地に近い。

【藤里の弱み】

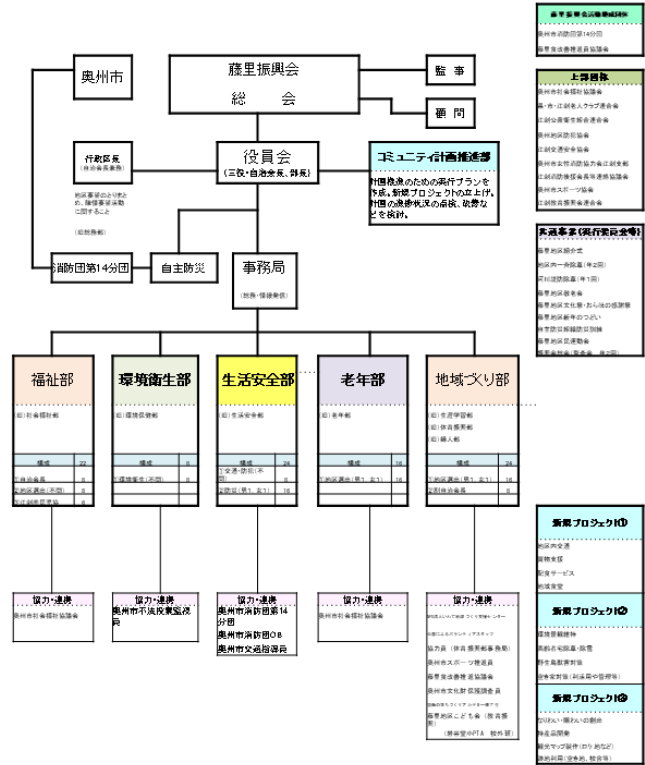
- 人口が減り続け、子どもが少なく、子ども連れのつながりもなくなった。
- 都会に出て行く若者が多い。
- 高齢者が増え、未婚者も多くなっている。
- 地域の行事に参加する人が減り、年々活気が失われ、寂しくなっている。
- 人口の他に多岐にわたる、共同作業の出発が負担。
- 農業以外に地域に働ける場所がない。
- 学校も子育て施設もなく、病院も遠い。
- 野生鳥獣被害が拡大している。
- 地域の良さを見いだせず、検討する前に諦めてしまっている。



【藤里の課題】

- 人が減っても暮らしていける地域をつくる。
- 安心して快適な暮らしを送れる地域をめざす。
- 働ける場所をつくり、人口を維持する。
- 交通の便を改善する。
- 多様な地域資源、空き施設を有効活用する。
- 文化財を保全・活用する。
- 歴史を見つめ直し、次世代に伝える。
- 農地・山林をきちんと手入れする。
- 野生鳥獣被害を減らす。
- 地域の魅力に気づき、新しいものを創り入れる。

令和7年度 藤里振興会組織図(最終案)



事業名	4. 遠野市小友地区 おとも・ボランティア送迎事業	
依頼者	お不動みのたけ倶楽部健康福祉隊	継続
実施地区	遠野市小友	
事業概要	<p>いきいき岩手支援財団いわて健康福祉基金の「ご近所支え合い活動助成金」を活用した事業3年目。今年度も地区内の松田重機株式会社が地域貢献として社有車を使って社員が仕事の合間に小友地区内の住民を無償で送迎するサービスを継続して行った。</p> <p>(ボランティア送迎事業)</p> <p>範囲:小友町内および町外の病院等施設 利用料:無料</p> <p>運行時間:月曜～金曜 午前8時～午後5時</p> <p>予約受付:おとも地区センター 電話で予約</p>	
今後の展望		



「ちよいそこ」の利用者



視察受け入れの様子



視察受け入れの様子



遠野市主催の講演会での発表

事業名	5. 宮城県白石市 白川地区地域内交通支援業務	
依頼者	白川振興会	新規
実施地区	宮城県白石市白川地区	
事業概要	白石市白川地区では、白石市の支援を受け、地域内交通について自分たちでできることを検討し、実現することを目指して、2024年度は勉強会と住民アンケート調査の実施と運行方法の検討ワークショップを支援した。	
今後の展望	話し合いを踏まえ、2025年度は送迎用車両をリースし、ボランティアドライバーを募集し、買い物支援ツアーから試験的に取り組んでいくことが決まり、今後も実現に向けた支援を行っていく。	

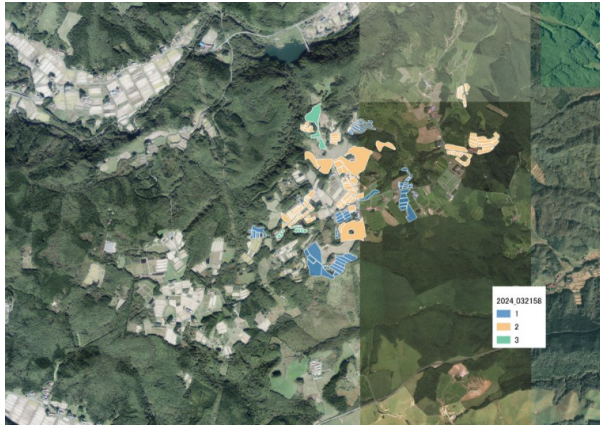


8月29日 白川地区住民に対する住民主体の地域交通づくりの勉強会を開催



2月10日 住民アンケートの結果を紹介し、それを踏まえて白川地区で取り組む送迎サービスについて話し合った。

事業名	6. 奥州市衣川南股地区農地農業マップ作成業務（農村 RMO モデル事業）	
依頼者	奥州市 衣川南股地区センター	新規
実施地区	奥州市衣川南股地区	
事業概要	<p>奥州市衣川南股地区は 2024 年度から農林水産省の農村 RMO モデル形成支援事業の補助を受け、①農用地保全、②地域資源管理、③生活支援に取り組んでいる。このうち、農用地保全活動の一環として、地区が実施した農地所有者の意向調査結果のマップ化作業を支援した。マップ化は QGIS（GIS フリーソフト）で作業した。マップ化にあたっては、意向調査の回答者が所有する圃場の確認作業が必要となり、南股の 5 地区のうち噌味地区の農地マップの作成を行った。</p>	
今後の展望	2025 年度は残り4地区(大原・河内・畦畑・檜原)の農地農業マップ作成を行う予定である。	



QGIS で作成した農地マップ



10 月 4 日 マップ化およびマップを活用した話し合いの進め方について農村 RMO 事務局の相談や打ち合わせを行った。

A 2. 支援・協力事業【協働支援】

事業名	7. 久慈市 ふるさと未来づくり事業中間支援業務	
依頼者	久慈市	継続
実施地区	久慈市内 8 地区	
事業概要	<p>(1) 8 地区の未来づくり事業支援 昨年度に引き続き、市内 8 地区の未来づくり事業を支援した。</p> <p>①山形地区：山形ビジョン推進委員会を 5 回実施するとともに、実践プロジェクトとして、2023 年度に引き続き、溪流活用、高齢者の見守り体制づくり、子育て支援、情報発信の 4 つを各チームごとに実施した。溪流活用は、住民によるドローン撮影チームが発足し、子育て支援についても、学童保育の試行など、目に見える成果を挙げている。</p> <p>②侍浜地区…昨年度まで実施してきた侍浜振興協議会の組織の見直し作業を踏まえて、新たな組織への移行を支援するとともに、住民に周知するためのパンフレットを作成した。</p> <p>③小久慈地区：久慈市集落支援員を通じて、小久慈まちづくり協議会の役員会、ならびに、朝市、カフェ、桜、小久慈焼きの 4 チームの活動を支援した。また、以前から課題となっている、まち協の役員の世代交代へのアドバイスを行った。</p> <p>④その他（山根、夏井、大川目、宇部、長内）：各地区のまちづくり協議会の状況を、久慈市および集落支援員から報告を受け、随時アドバイスを行った。</p> <p>(2) 協働と地域づくりに関する職員研修：継続 (3) 中間支援人材育成研修：継続</p>	
今後の展望	2025 年度も引き続き支援を行うが、最終年度となる可能性があるため、とくに地元の中間支援団体へのノウハウの移転や久慈市の新しい中間支援体制への移行に留意して、事業を進める。	



5 月 27 日職員研修



6 月 24 日職員研修



11 月 27 日 山形ビジョン推進委員会



侍浜のパンフレット

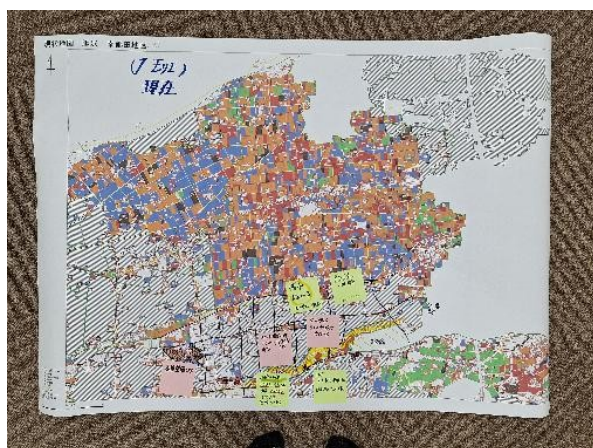
事業名	8. 奥州市地域計画策定支援業務	
依頼者	奥州市	新規
実施地区	奥州市 20 地区	
事業概要	<p>人農地プランの「地域計画」の作成支援を、奥州市内 45 地区のうち 20 地区において実施した。1 地区 1 回ずつの話し合いのため、初めてでも話し合いがスムーズに進められるように奥州市内の中間支援人材であるまちづくりアカデミー終了のグループ「まちアカプラス」に参加してもらい、当日の進め方についての検討及び当日のテーブルファシリテーターとして活躍してもらった。</p> <p>農業や農地についての話し合いの場はあまり開催されてこなかったことから、どの地区でも話し合いは好評で、これからも引き続き開催を支援していきたい。</p>	
今後の展望	<p>地域計画策定支援はまずは終了したが、地域計画自体は毎年見直していくものであるため、地域や行政からの要望に応じて、引き続き支援を行っていきたい。</p>	



地域計画 WS



地域計画 WS



7月1日 WS 成果品



7月9日地域計画

事業名	9. 秋田県横手市 浅舞地区地域運営組織形成支援業務	
	10. 秋田県横手市 朝倉地区地域運営組織形成支援業務	
依頼者	秋田県横手市	浅舞:継続
実施地区	秋田県横手市浅舞地区/朝倉地区	朝倉:新規
事業概要	<p>横手市は市内 30 地区センターを対象に、地域運営組織形成及び伴走支援事業に取り組んでおり、当センターは毎年 2 地区程度担当している。2024 度は浅舞地区でいよいよ地域運営組織が立ち上がることとなり、立ち上げに向けて地区ビジョンをワークショップや事務局会議等を行い作成した。</p> <p>朝倉地区は 2024 年度から地域運営組織立ち上げに取り組むこととなり、初年度として職員研修を開催し、ワークショップや地域運営についての学びの場をつくった。</p>	
今後の展望	浅舞地区については引き続き伴走支援を行う。朝倉地区については他のコーディネーターが担当する予定である。2025 年度は別地区の伴走支援に取り組む予定である。	



5月31日浅舞WS



12月26日浅舞WS



5月10日朝倉地区センター



2月24日浅舞WS

B. 人材の育成・研修事業

事業名	11. いわセン 20 周年記念イベント	
依頼者	自主事業	自主事業
実施地区	紫波町情報交流館(オガール大スタジオ)	
事業概要	<p>いわセンの 20 年間の活動をふりかえるとともに、今後の地域振興ならびに地域支援のあり方を考えること、そしてこれまでセンターに関わってこられた地域や関係者の皆さまへ感謝を伝えることを目的に「いわセン 20 周年記念シンポジウム～感謝フェス～」と題し、明治大学教授小田切徳美先生、NPO法人みんなの集落研究所阿部典子氏を招いた基調講演と中村恭香氏、井面宏氏、小笠原晃氏を交えてパネルディスカッションを開催した。</p> <p>また、イベント会場外に出店ブースを設け、岡山県より「NPO 法人英田上山棚田団」、宮城県丸森町より「ひっぽの店ふでいち」、宮城県加美町「鹿原コミュニティ推進協議会」、雫石町「米処勘蔵」、(一社)農山村文化協会様より出店ブースに参加いただき商品販売を行った。会場内では中村恭香さんには「へっちょこ団子」のお振舞いに協力頂き、その他、いわセン 20 周年記念グッズ(煎餅・エコバック)を作成、当日来場者に配布も行った。</p>	
今後の展望	<p>地区内外から多くの反響をいただき、今後も引き続き地域づくりに関わる情報発信や学びと交流の場づくりの必要性を感じた。</p>	



基調講演 小田切徳美先生(左)阿部典子氏(右)



パネラーのみなさま



実行委員の皆様へ協力頂き(受付)



会場は 100 名を超える参加が



パネルディスカッションの様子



出店ブースで各地の商品を販売頂きました。



出店ブースの様子



中村恭香さんによる「へっちょこ団子」のお振舞い



協賛いただいた紫波町地域づくり課 鎌田さん



懇親会の様子 盛田シェフのイタリアン



エコバック



いわせんべい

事業名	12. 秋田県 小坂町地域づくり支援アドバイザー派遣業務	
	13. 秋田県 潟上市地域づくり支援アドバイザー派遣業務	
依頼者	秋田県・NPO 法人あきたパートナーシップ	新規
実施地区	秋田県小坂町/潟上市	
事業概要	<p>秋田県は地域づくりに取り組みたいと考えている市町村や地域に対してアドバイザーを派遣する事業を行っており、今年度はアドバイザーとして小坂町と潟上市に派遣された。</p> <p>小坂町については地区役員と町担当者と打ち合わせを行ったが、地域側に意欲が足りず、異動も予定されていることから実際に取り組みまでには至らなかった。</p> <p>潟上市については昨年度から引き続きの支援であり、地域役員らと打ち合わせの結果、6自治会が連携してひとつの住民自治組織を立ち上げる意思が確認された。それに向けた取り組みとして、各自治会の役員らによる勉強会及び意見交換会を開催した。</p>	
今後の展望	<p>潟上市については今後本格的に住民自治組織の立ち上げに移行する予定で、引き続き支援を行っていく。</p>	



11月29日小坂駅



11月29日小坂町公民館



12月5日 潟上市湖岸地区打ち合わせ



2月1日 潟上市湖岸地区勉強会

C. 調査研究／政策提言【公共交通】

事業名	14～18. 公共交通に関する計画策定および運行支援	
依頼者 (実施地区)	田野畑村 宮城県丸森町 住田町 山形県鶴岡市朝日地区 遠野市	継続 新規
事業概要	<p>公共交通に関しては、「a.地域公共交通計画策定」が2市町、「b.既存の公共交通網の見直し支援」が1地区、「c.伴走支援」が2町村、取り組んだ。</p> <p>住田町と遠野市では、2024年度に地域公共交通計画の策定に取り組み、これまであまり見直してこなかった路線バスのあり方を見直し、一部デマンド運行を導入する計画となった。2025年度も引き続き導入支援に取り組む。</p> <p>朝日地区は路線バスの撤退に伴い、市営バスによる運行を拡大することになり、一部デマンドを導入しつつ、新たな運行計画策定を支援した。</p> <p>田野畑村と丸森町については、伴走支援としてデマンド交通の運行実績の分析や話し合い支援を行った。</p> <p>a.地域公共交通計画策定…住田町、遠野市 b.既存の公共交通網の見直し支援…山形県鶴岡市朝日地区 c.伴走支援…田野畑村、宮城県丸森町</p>	
今後の展望		



住田町コミュニティバス



7月25日住田町ヒアリングの様子



遠野市市営バス



10月30日遠野市ヒアリング

D. 情報発信

事業名	19~37. 広報デザイン支援各種
-----	-------------------

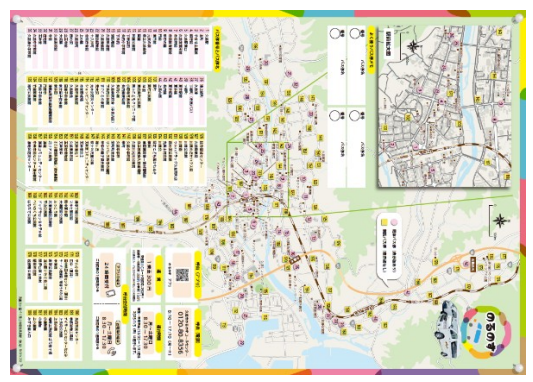
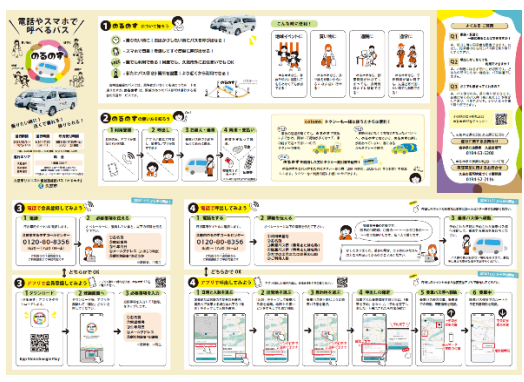
<地域づくり系>
 田野畑村明戸「おすばらぐ」／北海道岩内町「いつもここから」／岩手県NPO冊子「PIN」
 伊手広報デザイングッズ等／遠野市土淵RMOパンフ／長崎県五島市山内RMOパンフ

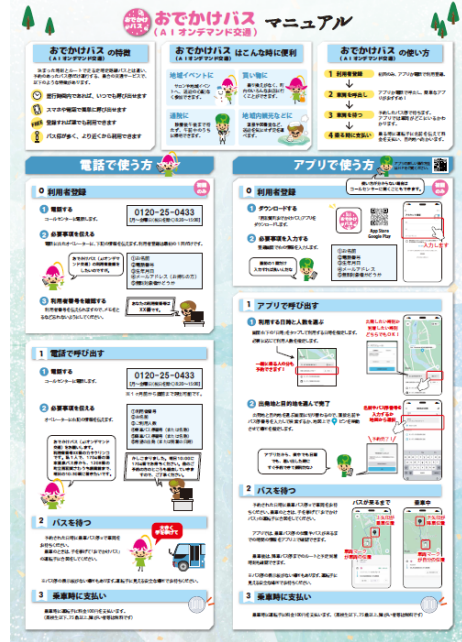
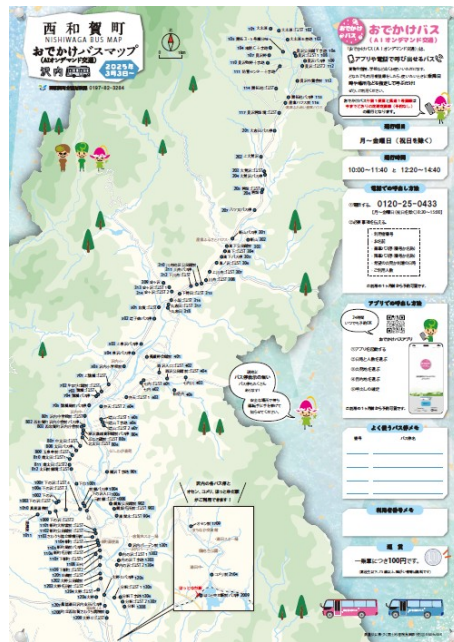


事業名



<公共交通系>
 交通インフラ図更新／大槌広報更新／新潟県村上市山北地域チラシ更新／くらしの足をみんなで作る全国フォーラムチラシ更新／北上市コミバスおに丸号時刻表MAP更新／八幡平市コミバス時刻表冊子更新／宮城県女川町交通冊子更新／久慈市AIバspanフ／西和賀町町民バスAIデマンドMAP





<その他>

藤尾氏名刺増刷／北村氏名刺デザイン／映画「生きる」上映会チラシデザイン

今後の展望

地域づくり系では活動をまとめたパンフレットや冊子の業務が、公共交通系ではこれまで制作したマップ・時刻表の更新作業が主となりつつ、交通がAIデマンド形式になるなどそれぞれの事業の変化にもなったアップデートが必要となっている。それぞれの新たな事業形態や使い方等をインプットしつつ、スムーズに対応できるように努める。

(2) 議案第2号：2024年度活動決算について

(事業ごとの予算と決算)

支援・協力事業では予算 千円のところ、 千円の決算額、人材育成・研修事業では予算 千円のところ、 千円の決算額、調査協力・政策提言事業では予算 千円のところ 千円決算額、情報提供事業では、予算 千円のところ 千円の決算額となりました。

支援・協力事業以外では予算を下回りましたが、支援・協力事業の収入が予算より多くなりました。

☐：非営利事業

種類	事業内容	依頼者（委託者）	予算額 (千円)	決算額 (千円)
A 支援・ 協力事業	＜地域運営支援＞ *地域住民主体活動			
	1. 奥州市 いさわ農村活性化推進事業中間支援業務（継続）	胆沢平野土地改良区	2,500	2,500
	2. 奥州市 伊手農村農業活性化協議会支援業務（継続）	伊手農村農業活性化協議会	2,500	2,928
	3. 奥州市 藤里振興会地域コミュニティ計画の更新と組織見直し検討支援業務（継続）	藤里振興会	170	270
	4. 遠野市 小友地区おとも・ボランティア送迎事業（継続）☐	お不動みのたけ倶楽部	25	25
	5. 奥州市衣川 南股地区農地農業マップ作成業務	南股地区センター	—	317
	6. 宮城県白石市 白川地区地域内交通支援業務	白川振興会	—	264
	＜協働支援＞ *住民と行政の協働活動			
	7. 久慈市 ふるさと未来づくり事業中間支援業務（継続）	久慈市	2,464	2,464
	8. 奥州市 地域計画策定支援業務	奥州市	3,036	3,707
	9. 秋田県横手市 浅舞地区地域運営組織形成支援業務（継続） 浅舞地区アンケート支援業務	秋田県横手市	495 —	495 292
	10. 秋田県横手市 朝倉地区地域運営組織形成支援業務	秋田県横手市	495	495
	(その他)		1,589	—
	小計			13,274
B 人材育成 研修事業	11. いわセン20周年記念シンポジウム～感謝フェス～	自主事業	0	103
	12. 秋田県 小坂町地域づくり支援アドバイザー派遣事業	秋田県・NPO あきたパートナーシップ	—	99
	13. 秋田県 潟上市地域づくり支援アドバイザー派遣事業	秋田県・NPO あきたパートナーシップ	—	242
	(その他)		650	—
	小計			650
C 調査研究・ 政策提言	14. 田野畑村 公共交通調査等支援業務（継続）	田野畑村地域公共交通活性化協議会	780	780
	15. 宮城県丸森町 地域公共交通伴奏支援業務（継続）	宮城県丸森町	495	344
	16. 住田町 地域公共交通計画等策定支援業務	住田町地域公共交通会議	4,174	4,700
	17. 山形県鶴岡市 朝日地域公共交通再編調査業務	朝日地域市営バス利用拡大協議会	1,826	1,826
	18. 遠野市 地域公共交通計画策定業務	遠野市	4,400	4,400
	一. 八幡平市 地域公共交通推進支援業務	八幡平市	1,936	—
	一. 岩手町地域公共交通計画推進業務	岩手町	715	—
	小計			14,326

種類	事業内容	委託者	予算額 (千円)	決算額 (千円)
D 情報発信	＜地域づくり情報誌系＞			
	19. 田野畑村明戸地区 情報誌「おすぱらぐ」制作業務（継続） <input type="checkbox"/>	明戸の元気応援団	17	20
	20. 北海道岩内町 情報誌「いつもここから」制作業務（継続）	岩内町	232	696
	21. 岩手県NPO情報誌冊子「PIN」デザイン制作業務（継続）	NPO 法人いわて連携 復興センター	523	523
	22. 伊手デザイン業務	伊手農村農業活性化 協議会	—	1,173
	23. 遠野市土淵地区 RMO支援（HP・冊子修正・パンフデザイン）	NPO 法人遠野山・里・ 暮らしネットワーク	—	229
	24. 長崎県五島市 山内地区農村RMOビジョンソフト作成印刷業務	岐宿まちづくり協議会 山内支部	—	241
	＜公共交通系＞			
	25. 公共交通インフラ整備MAP更新作業（継続）	東北活性化研究センタ ー	13	13
	26. 大槌町 公共交通広報資料等作成業務（継続）	大槌町	94	94
	27. 新潟県村上市 山北地域交通住民周知チラシ作成業務（継続）	山北地域交通運営 協議会	—	72
	28. 暮らしの足をみんなで考える全国フォーラムチラシデザイン業務（継続）	暮らしの足をみんなで 考える全国フォーラム実行委員会	—	55
	29. 北上市 コミバスおに丸号バスマップ増刷R7年度分制作業務（継続）	北上市	—	193
	30. 八幡平 コミュニティバス時刻表冊子作成業務（継続）	八幡平市	—	606
	31. 宮城県女川町 公共交通マップ等制作業務（継続）	㈱KCS	—	323
	32. 久慈市 AIバスパンフレット等一式作成業務	㈱KCS	—	398
	33. 西和賀町 町民バスAIオンデマンド交通マップ制作業務	西和賀町	—	319
	＜その他＞			
	34. 記念誌デザイン印刷業務（継続）	NPO 法人いわてNPO ネットサポート	119	119
	35. 藤尾氏名刺増刷業務（継続）	藤尾氏	—	3
	36. 北村氏名刺	㈲KBC	—	13
	37. 映画「生きる」上映会チラシデザイン業務	NPO 法人いわてNPO フォーラム21	—	21
	(その他)		2,852	—
		小計	3,850	5,111
合計			32,100	31,362

(決算書)

2024年度は、経常収益が31,453,275円、経常費用が32,848,973円、当期正味財産増減額は△1,467,698円となりました。

2024年度 活動計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター

[税込] (単位：円)

(1/2)

(参考)

科目	2023年度 決算	2024年度 予算 ①	2024年度 決算 ②	差額 ②-①
I 経常収益				
1. 受取会費				
正会員受取会費	33,000	63,000	33,000	△ 30,000
受取助成金	0	0	0	
事業 収益	36,512,890	32,100,000	31,257,654	△ 842,346
受取講師料等	11,400	50,000	0	△ 50,000
受取 利息	187	200	11,666	11,466
雑収益	0	0	150,955	150,955
経常収益 計	36,557,477	32,213,200	31,453,275	△ 759,925
II 経常費用				
1. 事業費				
(1)人件費				
給料 手当(事業)	12,466,840	12,565,000	12,298,837	△ 266,163
役員 報酬(事業)	1,920,000	1,440,000	1,440,000	0
臨時雇賃金(事業)	488,437	400,000	739,500	339,500
人件費計	14,875,277	14,405,000	14,478,337	73,337
(2)その他経費				
外 注 費	3,716,000	2,000,000	4,344,660	2,344,660
諸 謝 金	230,285	203,000	172,507	△ 30,493
印刷製本費(事業)	1,695,278	1,830,446	1,849,188	18,742
会 議 費(事業)	49,002	533,000	337,236	△ 195,764
旅費交通費(事業)	1,715,821	1,661,320	1,231,940	△ 429,380
車両燃料費(事業)	283,047	249,000	146,923	△ 102,077
通信運搬費(事業)	540,319	550,800	626,758	75,958
事務用消耗品(事業)	35,511	31,000	24,079	△ 6,921
水道光熱費(事業)	11,852	11,520	14,080	2,560
賃 借 料(事業)	119,700	0	41,130	41,130
広告宣伝費(事業)	0	0	84,710	84,710
接待交際費(事業)	16,500	520,000	87,300	△ 432,700
新聞図書費(事業)	8,572	10,000	4,400	△ 5,600
諸 会 費(事業)	5,000	5,000	5,000	0
租税 公課(事業)	11,450	12,000	0	△ 12,000
支払手数料(事業)	34,935	35,000	10,209	△ 24,791
支払寄付金(事業)	0	500	0	△ 500
雑 費(事業)	0	0	34,000	34,000
支払寄付料(事業)	285	0	0	0
その他経費計	8,473,557	7,652,586	9,014,120	1,361,534
事業費 計	23,348,834	22,057,586	23,492,457	1,434,871

2024年度 活動計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター

[税込] (単位: 円)

(2/2)

(参考)

科目	2023年度 決算	2024年度 予算 ①	2024年度 決算 ②	差額 ②-①
2. 管理費				
(1) 人件費				
給料 手当(管理)	2,612,839	2,600,000	2,588,663	△ 11,337
法定福利費	2,659,233	2,674,000	2,575,011	△ 98,989
福利厚生費	26,151	30,000	53,180	23,180
人件費計	5,298,223	5,304,000	5,216,854	△ 87,146
(2) その他経費				
業務委託費	66,000	66,000	66,000	0
印刷製本費	7,000	10,000	20,680	10,680
会議費	36,498	36,498	31,927	△ 4,571
旅費交通費	9,720	9,720	6,560	△ 3,160
車両費	5,126	70,000	159,049	89,049
通信運搬費	180,964	180,964	208,088	27,124
事務用消耗品	207,630	207,630	242,236	34,606
備品消耗品	0	100,000	0	△ 100,000
修繕費	0	100,000	0	△ 100,000
水道光熱費	211,705	211,705	230,950	19,245
地代家賃	792,000	792,000	792,000	0
接待交際費	1,570	0	3,417	3,417
新聞図書費	36,000	36,000	39,600	3,600
減価償却費	588,847	400,000	147,575	△ 252,425
保険料	143,220	143,220	126,570	△ 16,650
中退共掛金	528,000	528,000	528,000	0
諸会費	12,267	12,267	1,375	△ 10,892
リース料	204,768	204,768	37,920	△ 166,848
租税公課	1,710,500	1,507,200	1,479,720	△ 27,480
支払手数料	33,555	100,000	17,995	△ 82,005
雑費	0	0	0	0
その他経費計	4,775,370	4,715,972	4,139,662	△ 576,310
管理費計	10,073,593	10,019,972	9,356,516	△ 663,456
経常費用計	33,422,427	32,077,558	32,848,973	771,415
当期経常増減額	3,135,050	135,642	△ 1,395,698	△ 1,531,340
Ⅲ 経常外収益				
過年度損益修正益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
Ⅳ 経常外費用				
固定資産売却損	0	0	0	0
過年度損益修正損	814	0	0	0
経常外費用計	814	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	3,134,236	135,642	△ 1,395,698	△ 1,531,340
法人税、住民税及び事業税	919,900	72,000	72,000	0
当期正味財産増減額	2,214,336	63,642	△ 1,467,698	△ 1,531,340
前期繰越正味財産額	32,817,670	35,032,006	35,032,006	0
次期繰越正味財産額	35,032,006	35,095,648	33,564,308	△ 1,531,340

2024 年度 貸借対照表

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで 5

特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター

[税込] (単位: 円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	3,722		
普通預金	24,369,176		
未収金	15,842,450		
立替金	60,000		
流動資産合計		40,275,348	
2. 固定資産			
車両運搬具	1		
什器備品	3		
敷金	120,000		
預託金	11,480		
固定資産合計		131,484	
資産の部 合計			40,406,832
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,183,901		
預り金	989,123		
未払法人税等	72,000		
未払消費税	604,400		
流動負債 計		6,849,424	
負債の部 合計			6,849,424
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産額	35,032,006		
当期正味財産増減額	△ 1,467,698		
正味財産 計		33,564,308	
正味財産 計			33,564,308
負債・正味財産合計			40,406,832

<参考>

【未収金の内訳】

[税込] (単位: 円)

科目	期末残高	5/19入金済み	5/19未収
未収金			
田野畑バス	779,900	779,900	0
久慈未来づくり	2,464,000	2,464,000	0
遠野バス	4,400,000	4,400,000	0
丸森バス	344,300	344,300	0
住田バス	4,700,000	4,700,000	0
横手市浅舞	786,500	786,500	0
横手市朝倉	495,000	495,000	0
鶴岡バス	1,826,000	1,826,000	0
小友支援	25,300	25,300	0
生きるチラシ	21,450	21,450	0
合計	15,842,450	15,842,450	0

【未払金の内訳】

[税込] (単位: 円)

科目	期末残高	5/19支払済み	5/19未払い
未払金			
職員	3,583,286	3,583,286	0
業者	170,502	170,502	0
社会保険料	573,722	157,457	416,265
カード	856,391	856,391	0
合計	5,183,901	4,767,636	416,265

【預り金の内訳】

[税込] (単位: 円)

科目	期末残高	5/19支払済み	5/19未払い
預り金			
社会保険料	560,231	153,880	406,351
雇用保険	75,816	0	75,816
源泉所得税	84,076	0	84,076
住民税	269,000	0	269,000
合計	989,123	153,880	835,243

2024年度 財務諸表の注記

2024年4月1日から2025年3月31日まで

特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定率法

(2). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は別紙の通りです。

3. 固定資産の増減内訳

[税込] (単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
(有形固定資産)						
車両運搬具	2,931,640	0	0	2,931,640	△ 2,931,639	1
什器 備品	1,400,638	0	0	1,400,638	△ 1,400,635	3
合計	4,332,278	0	0	4,332,278	△ 4,332,274	4

2024 年度 損益計算書

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター

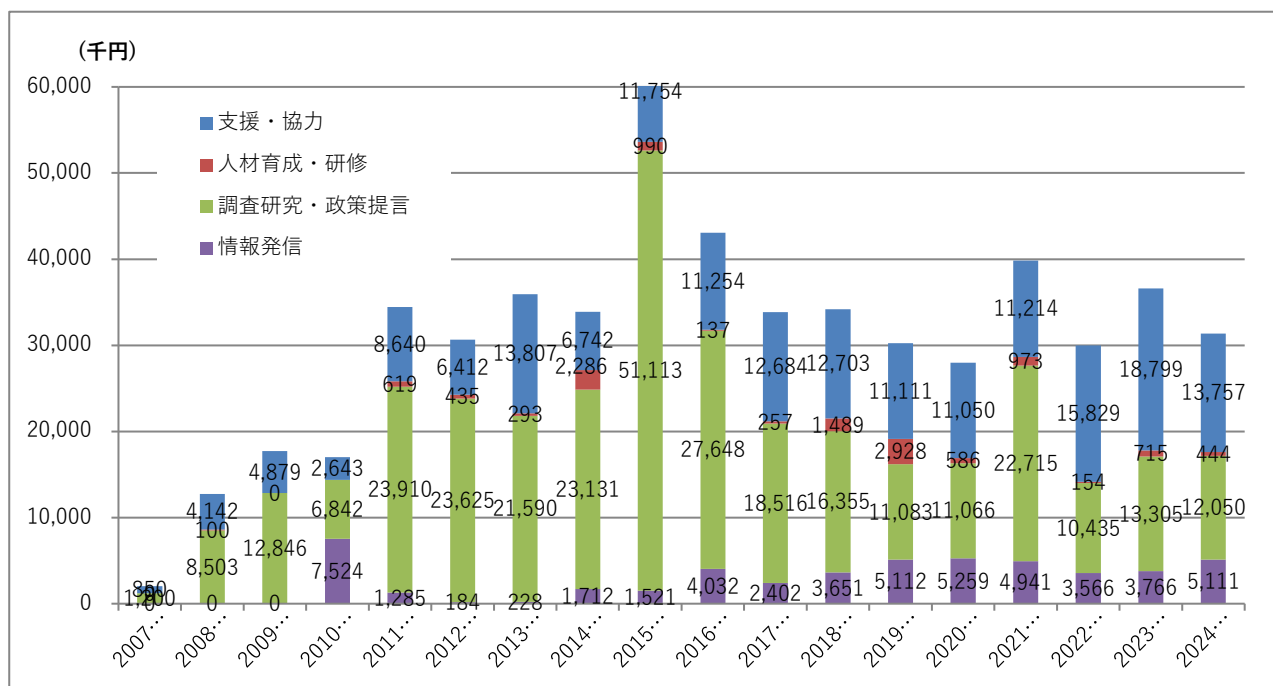
[税込] (単位: 円)

科目	収益以外の事業	収益事業	合計
(売上高)			
正会員受取会費	33,000	0	33,000
事業収益	45,300	31,212,354	31,257,654
受取講師料等	0	0	0
雑収益	0	150,955	150,955
売上高 合計	78,300	31,363,309	31,441,609
(販売費及び一般管理費)			
一般管理費	530,164	32,318,809	32,848,973
販売費及び一般管理費 合計	530,164	32,318,809	32,848,973
営業利益	△ 451,864	△ 955,500	△ 1,407,364
(営業外収益)			
受取利息収入	11,666	0	11,666
営業外利益 合計	11,666	0	11,666
(営業外費用)			
支払利息	0	0	0
過年度損益修正損	0	0	0
営業外費用 合計	0	0	0
経常利益	△ 440,198	△ 955,500	△ 1,395,698
(特別利益)			
固定資産売却益	0	0	0
過年度損益修正益	0	0	0
特別利益 合計	0	0	0
(特別損失)			
固定資産売却損	0	0	0
過年度損益修正損	0	0	0
特別損失 合計	0	0	0
税引前当期財産増減額	△ 440,198	△ 955,500	△ 1,395,698
法人税住民税及び事業税	0	72,000	72,000
当期正味財産増減額	△ 440,198	△ 1,027,500	△ 1,467,698
前期繰越正味財産額	△ 7,225,673	42,257,679	35,032,006
次期繰越正味財産額	△ 7,665,871	41,230,179	33,564,308

【経費参考資料】

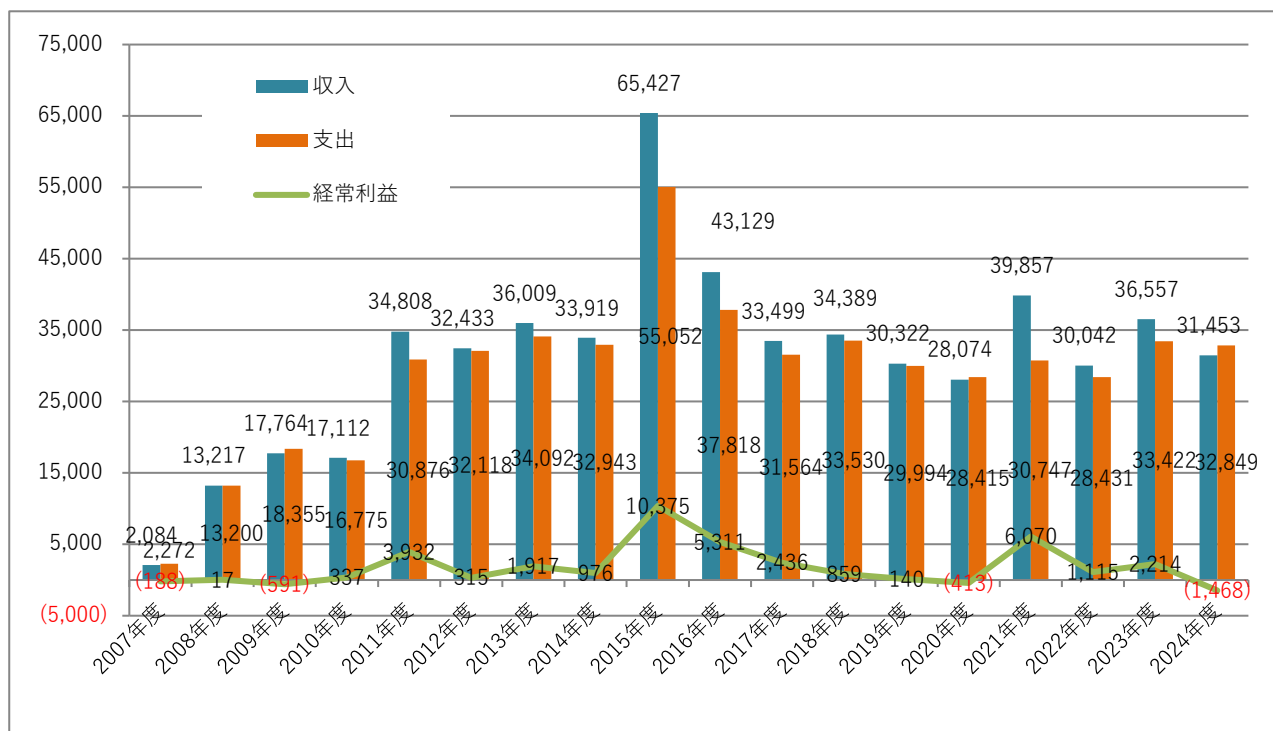
●事業種別の収入額の推移

2024年度は、全体の収入額が約3,145万円と、昨年度より500万円程減額となりましたが、事業種別の収入額の割合は、ほぼ例年通りとなりました。



●収支状況の推移

2024年度は、コロナの影響のあった2020年度以降初のマイナス収支となりました。二十周年関連自主事業が大きく影響したものと考えられます。



監査報告書

2025年5月12(月)10時より、紫波町事務所内において、代表理事から提出された2024年度特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センターの事業報告ならびに活動計算書等決算書類について監査いたしました。

提出された関係諸帳簿、証憑書類、預金通帳について、経理担当吉村彩立会いのもと監査した結果、誤りなく適正に処理されていることを認めましたのでここに報告いたします。

2025年5月12日

特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター
代表理事 廣田 純一

監事 熊谷 智義



(3) 議案第3号：2025年度事業計画（案）について

1) 事業実施の方針

今年度も、昨年度に引き続き、農山村地域は人口減少時代に適応した地域の仕組みや考え方の改革が求められているという問題意識のもと、特に「地域運営力の向上」、「中間支援人材の育成とつながりづくり」、「多様なセクターの連携による「交通空白」解消の推進」を今年度の活動のテーマに掲げ、岩手県内外において行政と住民の協働の仕組みづくりや地域運営組織の形成支援、および地域コミュニティの活性化の支援を行っていきます。支援の実施にあたっては、地域コミュニティへの直接的支援にとどまらず、市町村職員の意識やスキルの向上、地元の間接支援組織の育成にも取り組んでいきます。さらに、当該地区の間接支援機能の強化を図るために、これらの人材の活動を支援できる体制づくりも、同時に進めるように工夫します。

公共交通関係の業務に関しては、住民自らが地域の課題として公共交通の問題に取り組みたいという地域が増えていることから、住民と市町村、そして交通事業者の調整役を含め、それぞれが連携できる土壌づくりに取り組んでいきます。

最後に、情報発信・デザイン業務については、常に新しいスキルを身につけつつ、公共交通や地域づくりに関するマップやチラシ、および冊子編集におけるデザイン業務を引き続き受注してまいります。

(2025年度の活動テーマ)

◆地域運営力の向上

住民自治組織が地域運営を行うにあたって求められる組織のあり方や組織運営、事業経営について伴走支援を行い、横展開についても取り組みます。(奥州市伊手、久慈市他)

◆中間支援人材の育成とつながりづくり

県内外の中間支援組織と連携しながら、地方自治体職員や集落支援員含めて地域づくりおよび農村交通に関する中間支援人材の育成に取り組めます。(モビリティ人材育成研修、宮城県中間支援人材育成研修事業他)

◆多様なセクターの連携による「交通空白」解消の推進

交通事業者だけでなく、地方自治体と住民自治含めた多様なセクターによる地域交通のり・デザインに取り組み、農山村地域のくらしの安心づくりに取り組みます。

◆情報発信の充実

今年度も引き続き、公共交通、地域づくりに関するマップやチラシ、冊子編集におけるデザイン業務に注力します。

また、今年度は複数地域分の防災MAPや、公共交通パンフレットのデザイン等、規模の大きな業務もお手伝いする予定となっています。これらの業務は個人での対応は難しいため、これまで培った技術を活かしつつ、他のデザイナーへの指導や作業分担を行いながら進めてまいります。個人でのみデザイン支援だけでなく、デザイン指導を含めた体制づくりを通じて、より広がりのある展開を目指します。

2) 事業の実施に関する事項

2025年度は32,642千円の契約額を目標といたし、ご提案します。

支援・共同事業で6,494千円、人材育成・研修事業で6,033千円、調査研究事業で14,313千円、情報発信業務で5,752千円としています。

2025年度事業計画（案）

2025年4月1日から2026年3月31日まで

「開」印は非営利事業 「●」印は契約済み 「new!」新規業務

種類	事業内容	予算額（千円）	
A 支援・協働事業	奥州市 伊手小学校にぎわいづくり支援業務	3,000	
	奥州市 藤里地区地域コミュニティ計画の実施支援業務	200	
	奥州市 胆沢地区農村活性化支援業務	300	
	秋田県横手市 地域運営組織形成支援業務	495	
	花巻市 大瀬川地区の将来ビジョンの策定支援業務 new!	310	
	支協 援働 久慈市ふるさと未来づくり事業中間支援業務●	2,189	
			小計 6,494
成B ・研 修事 業 の 育 材	二戸振興局 地域コーディネーター育成支援業務 new!	583	
	モビリティ人材育成業務 開 new!	7,985	
	宮城県 中間支援人材研修 new!	500	
	いわせん塾	200	小計 9,268
C 調 査 研 究 / 政 策 提 言	田野畑村 公共交通調査等支援業務●	792	
	遠野市 地域公共交通計画策定業務	4,400	
	住田町 地域公共交通推進策定業務	2,783	
	北上市 地域公共交通計画策定支援業務	1,320	
	山形県最上町 地域公共交通人材育成支援業務 new!	1,232	
	山形県庄内町 公共交通ネットワーク調査検討業務 new!	1,016	
	宮城県涌谷町 公共交通実証運行支援業務 new!	2,770	
			小計 14,313
D 情 報 発 信	田野畑村 明戸地区情報誌「おすばらぐ」と縮刷版冊子	400	
	奥州市 伊手デザイン支援	396	
	NPO情報誌「PIN」	539	
	滝沢市 公共交通冊子更新とグッズ印刷	773	
	花巻市 ハザードマップ更新業務 new!	3,344	
	福島県 公共交通変更お知らせパンフ9種 new!	300	
	記念誌印刷	0	小計 5,752
計			35,827

(4) 議案第4号：2025年度活動予算(案)について

2025年度は32,716,970円の経常収益、32,224,408円の経常費用の予算案をご提案します。

2025年度 活動予算(案)

2025年4月1日から2026年3月31日まで

特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター

(1/2)

[税込] (単位：円)

科目	2024年度決算 ①	2025年度予算 ②	差額 ②-①	備考
I 経常収益				
1. 受取会費				
正会員受取会費	33,000	60,000	27,000	20人×3,000
受取助成金	0	7,985,300	7,985,300	補助金
事業収益	31,408,354	27,641,970	△ 3,766,384	事業一覧参照
受取講師料等	0	200,000	200,000	いわせん塾
受取利息	11,666	12,000	334	
雑収益	150,955	0	△ 150,955	
経常収益計	31,603,975	35,899,270	4,295,295	
II 経常費用				
1. 事業費				
(1) 人件費				
給料 手当(事業)	12,299,967	12,987,774	687,807	
役員 報酬(事業)	1,440,000	1,500,000	60,000	代表、監事
臨時雇賃金(事業)	739,500	360,000	△ 379,500	例年規模
人件費計	14,479,467	14,847,774	368,307	
(2) その他経費				
外注費(事業)	4,344,660	1,000,000	△ 3,344,660	事業による
諸謝金	172,507	2,013,816	1,841,309	事業による
印刷製本費(事業)	1,849,188	1,663,050	△ 186,138	
会議費(事業)	337,236	56,000	△ 281,236	二十周年除き
旅費交通費(事業)	1,183,380	2,074,527	891,147	
車両燃料費(事業)	146,923	167,000	20,077	
通信運搬費(事業)	626,758	367,200	△ 259,558	
事務用消耗品(事業)	24,079	27,000	2,921	
水道光熱費(事業)	12,925	0	△ 12,925	
会場借料(事業)	41,130	2,254,543	2,213,413	事業による
広告宣伝費(事業)	84,710	0	△ 84,710	二十周年除き
接待交際費(事業)	87,300	19,000	△ 68,300	二十周年除き
新聞図書費(事業)	4,400	4,400	0	
諸会費(事業)	5,000	5,000	0	
支払手数料(事業)	10,209	12,000	1,791	
雑費(事業)	34,000	10,000	△ 24,000	二十周年除き
その他経費計	8,964,405	9,673,536	709,131	
事業費計	23,443,872	24,521,310	1,077,438	

2025年度 活動予算（案）

2025年4月1日から2026年3月31日まで5

特定非営利活動法人 いわて地域づくり支援センター

(2/2)

[税込] (単位：円)

科目	2024年度決算 ①	2025年度予算 ②	差額 ②-①	備考
2. 管理費				
(1) 人件費				
給料 手当(管理)	2,587,533	2,732,226	144,693	
法定福利費	2,575,552	2,720,000	144,448	
福利厚生費	53,180	60,000	6,820	
人件費計	5,216,265	5,512,226	295,961	
(2) その他経費				
業務委託費	66,000	66,000	0	会計支援
印刷製本費	20,680	20,680	0	総会
会議費	31,927	31,927	0	総会飲食費
旅費交通費	6,560	6,560	0	総会旅費
車両費	159,049	70,000	△ 89,049	車検ナシ
通信運搬費	208,088	208,088	0	
事務用消耗品	251,996	251,996	0	
水道光熱費	230,950	230,950	0	
地代家賃	792,000	792,000	0	
接待交際費	3,417	3,417	0	
新聞図書費	39,600	39,600	0	
減価償却費	147,575	0	△ 147,575	償却終了
保険料	126,570	126,570	0	
中退共掛金	528,000	528,000	0	
諸会費	1,375	1,375	0	
リース料	37,920	37,920	0	
租税公課	1,486,620	1,296,000	△ 190,620	消費税+印紙
支払手数料	17,995	17,995	0	
その他経費計	4,156,322	3,729,078	△ 427,244	
管理費計	9,372,587	9,241,304	△ 131,283	
経常費用計	32,816,459	33,762,614	946,155	
当期経常増減額	△ 1,212,484	2,136,656	3,349,140	
III 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
IV 経常外費用				
過年度損益修正損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
税引前当期正味財産増減額	△ 1,212,484	2,136,656	3,349,140	
法人税、住民税及び事業税	72,000	324,500	252,500	
当期正味財産増減額	△ 1,284,484	1,812,156	3,096,640	
前期繰越正味財産額	35,032,006	33,747,522	△ 1,284,484	
次期繰越正味財産額	33,747,522	35,559,678	1,812,156	

(5) 議案第5号：役員報酬について

1) 代表理事の役員報酬について

代表理事の役員報酬につきまして、以下の内容を踏まえ、昨年度同様、月額 120,000 円とすることをご提案申し上げます。

- 法人全体の運営管理、事業の方向性の決定、財務の監督など、組織全体を統括。
- 各業務において定期的に現地に赴き、ワークショップ支援や地域との調整、その他実務を実施。

これらの活動に見合う報酬額として、昨年度と同様の月額設定を維持するものです。ご審議のほど、よろしくお願いたします。

2) 監事の役員報酬について

新しく就任頂いた監事の役員報酬について、以下の業務を対象として、年額 60,000 円とすることをご提案いたします。

- 定例会議への出席（年2回）
- 総会前会議への出席
- 理事会への出席
- 総会への出席
- 年1回の監査業務

これらを通じて業務内容や運営体制を確認いただき、組織運営の安定と発展に貢献いただきます。報酬額は、これら業務への対価として設定したものです。ご審議のほど、よろしくお願いたします。

参考資料) 役員報酬を受けることができるのは役員総数の三分の一以下と定められています。

(定義)

第二条 この法律において「特定非営利活動」とは、別表に掲げる活動に該当する活動であつて、不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とするものをいう。

2 この法律において「特定非営利活動法人」とは、特定非営利活動を行うことを主たる目的とし、次の各号のいずれにも該当する団体であつて、この法律の定めるところにより設立された法人をいう。

- 一 次のいずれにも該当する団体であつて、営利を目的としないものであること。
- イ 社員の資格の得喪に関して、不当な条件を付さないこと。
- ロ 役員のうち報酬を受ける者の数が、役員総数の三分の一以下であること。

出典：特定非営利活動促進法第2条第2項1号

2025年5月現在で理事及び監事の総数は8名、役員報酬を受ける人数は2名になることとなります。三分の一以下となるため、法令に基づいた適正な範囲内であることをご報告します。

2. その他

(1) 「出張！いわせん塾」の拡充について

4月18日に開催した理事会において、20周年感謝シンの反響や自治体職員のスキル低下などの課題感を背景に、人材育成・研修をより拡充して行っていかどうかというご意見をいただきました。

これを受けて、これまでも細々と続けてきた「出張！いわせん塾」のメニューを拡大し、呼びかけも強めて行きたいと考えています。つきましては、以下のようなメニューの拡充を想定していますが、ご意見をいただければと思います。

■現在のメニュー *チラシ参照

- 1) 人口減少時代の地域づくりを考える
- 2) 町内会・自治会の活性化を考える
- 3) 住民による住民のための移動サービスを学ぶ
- 4) ズバリ！一日でできる交通診断

■新メニュー案

- 1) 人口減少時代の協働のまちづくり講座
- 2) 人口推計のやりかた講座
- 3) 住民アンケートのつくり方と分析講座
- 4) イベントチラシのつくり方講座
- 5) 地域活動かわら版のつくり方講座

人口減少時代の地域づくりを考える




担当：広田代表理事

そもそも地域とは何か、コミュニティとは何かから考えていく必要があります。コミュニティは放っておいて自然にできるものではなく、つくる仕掛けや努力が必要です。今あるコミュニティも先人の努力の積み重ねでできています。しかし、これからは人口減少に合わせて捉え直し作り替えていく必要があります。人口減少計画を基に地域のあり方を考えるヒントを伝えます。

ミニ講座 | 小班にわかれて意見交換 | 質疑応答 など

町内会・自治会の活性化を考える




担当：広田代表理事

子どもが減って…役員のなり手がいない…いつも同じ人ばかり…。どの町内会、自治会も抱えている悩みは同じです。町内会や自治会の役割を見つめ直し、次の世代につながるあり方を考えていきます。

ミニ講座 | 小班にわかれて意見交換 | 質疑応答 など

住民による住民のための移動サービスを学ぶ




担当：若菜常務理事

「一人暮らしが増えて買い物に困っている人がいるみたい」「運転免許をできれば手放したいけれど…」でも、交通は難しくして、自分たちで何ができるのか分からない…そんな悩みに丁寧にお答えします。交通に関する法律や業界の話から、自分たちで何から始めればよいのかなど、地域の実情に沿って必要な情報や対話の場を作ります。

ミニ講座 | 小班にわかれて意見交換 | 質疑応答 など

ズバリ！1日でできる交通診断



担当：若菜常務理事

「地域にバスはあるけど、使われていない」「デマンドタクシーが欲しいけど、この町に合ってる？」などの悩みにズバリお答えします。

事前準備 地域の地図、バス時刻表、路線図、現在の悩みなどを事前にお送りください。

プログラム

- 1) バス等に体験乗車（若菜）
- 2) 行政担当、バス・タクシー事業者への聞き取り
- 3) 交通診断結果の共有と改善策について適正な交通提案も

料金表（目安）

講演・研修にかかわる経費は、ご依頼頂く組織やご依頼頂く内容によって基本料金を下記のように定めています（旅費別途）。

地域組織や住民団体などの皆様は、ご予算に応じますのでお気軽にご相談ください。

	現地開催	オンライン開催
講演（1～2時間）	30,000円～	左記半額相当
パネルー	20,000円～	左記半額相当
研修（半日～1日）*	50,000円～	左記半額相当

*必要に応じてワークショップ開催や現地視察案内等も含む。

講師

講師・コーディネーター
広田 純一



NPO 法人いわて地域づくり支援センター代表理事。岩手大学名誉教授。住民参加型の地域づくりや、震災復興等の分野で、実際に地域と関わり実践を行っているが研究に取り組む。

講師・コーディネーター
若菜 千穂



NPO 法人いわて地域づくり支援センター常務理事。国土交通省東北運輸局「地域公共交通東北仕事人」、経済省地域力創造アドバイザー、岩手県内外の公共交通調査研究から各種プロジェクト実践支援に携わる。

(2) 2025年5月の会員数について

2025年5月 日現在の会員数は以下のとおりです。(加入日順)

正会員 20名

No.	氏名	理事・会員	所属
1	広田 純一	理事	岩手大学名誉教授
2	若菜 千穂	理事	いわて地域づくり支援センター
3	佐藤 重昭	理事	徳清倉庫 株式会社
4	菅原 由紀	理事	盛岡市役所
5	細田真理子	理事	盛岡市教育委員会学校教育課(城南小) 会計年度職員(スクールアシスタント)
6	朝倉 文恵	正会員	日本生活協同組合連合会
7	大瀧 英知	理事	株式会社 総合設計研究所
8	吉村 彩	正会員	いわて地域づくり支援センター
9	下黒沢 朝光	理事	SECOM 株式会社・任意団体森守の盛
10	廣田 悠人	正会員	岩手県庁
11	瀬戸 紗希	正会員	北上市役所
12	太田 陽之	正会員	株式会社Pサポ東北
13	北村 直理	正会員	有限会社KBC、農事組合法人 赤沢水稻
14	葛巻 徹	正会員	NPO 法人花巻市民活動支援センター
15	藤原 瑞枝	正会員	雫石町役場
16	福井 誠司	正会員	岩手県議会議員
17	近村 功一	正会員	シニアパワーいわて
18	中村 恭香	正会員	NPO 法人いわてNPOフォーラム21
19	外柳 万里	正会員	大阪公立大学大学院(博士後期課程)
20	熊谷 智義	監事	合同会社地域計画

(敬称略)